



## 重層的支援体制整備事業を見据えた自治体のシステムにF-SOAIP搭載 ～マイクロ・メゾ・マクロレベルの横断的課題解決～

社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻  
 寫末 憲子 准教授

【研究分野】 ソーシャルケア、対人支援 多職種連携、地域包括ケア  
 【キーワード】 F-SOAIP、自治体、重層的支援、横断的課題解決、マイクロ・メゾ・マクロ、協創型イノベーション  
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=198shima>



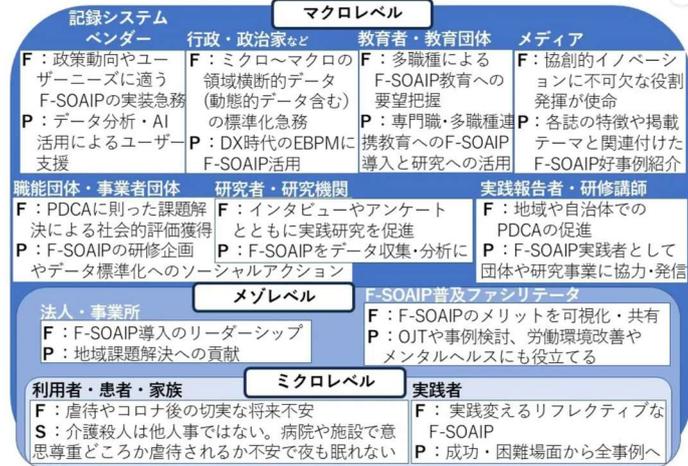
### 研究概要

- 対人支援(保健・医療・福祉・介護・保育・教育・心理・司法)の経過記録の方法として F-SOAIP(エフソ・アイピー)を開発しました。
- この6項目で、経過記録を漏れなく勘違いなく、効率的に書ける・読めるようになります。
- 行政の相談支援における情報共有、事例検討、OJT、スーパービジョン、リフレクションをはじめ、業務分析などのデータ利活用に役立ちます。

### 研究紹介

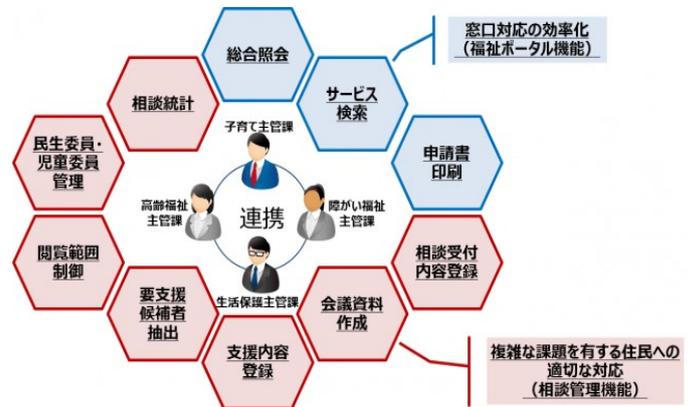
- 科学研究費補助金による研究代表者として、実務者(介護支援専門員、介護職、ソーシャルワーカー、生活支援員、医師、看護師、作業療法士、理学療法士、薬剤師、栄養士等)、政策担当者(国会議員、行政等)、システムベンダー等へ、F-SOAIPの普及・定着に向けたソーシャルアクションに取り組んでいます。

図 マイクロ～マクロレベルのF-SOAIPによるデータ利活用～協創型イノベーション版～



### F-SOAIPの6項目(実践の可視化:必要最小限)

F Focus 着眼点	ニーズ、気がかり等 ※その場を簡潔に→ <b>タイトル</b> ※ケアプランの <b>目標・課題やプランと連動</b>
S Subjective Data 主観的情報	<b>利用者(キーパーソンを含む)の言葉</b> ※キーパーソンの場合、S(関係や続柄)と表記
O Objective Data 客観的情報	観察・状態や <b>他職種から得られた情報</b> 、環境・経過等
A Assessment アセスメント	援助者(記録者本人)の判断・解釈 → <b>気づき・考えた事</b>
I Intervention Implementation 介入・実施した事	援助者(記録者本人)の対応 ※支援、声かけ、連絡調整、介護等
P Plan 計画	当面の対応予定



(株)TKC、相談支援サービスの質と生産性の向上へ「福祉相談支援システム」を機能拡充 <https://www.tkc.jp/news/2020/20200513> ニュースリリース所収の図

### 講座テーマ紹介

- 自治体向け：重層的支援体制の実現～多機関多職種の協議体におけるF-SOAIPの活用～

### アピールポイントなど

- 著書：寫末憲子・小嶋章吾『医療・福祉の質が高まる生活支援記録法[F-SOAIP] 多職種の実践を可視化する新しい経過記録』中央法規出版、2020年/分担執筆『ソーシャルワーク記録』誠信書房
  - F-SOAIP研修：受講者数 全国 約**1万5千人**(当法人役員が講師をお引き受けした分のみ)
  - 実践報告者等：延べ 約**200人**(連載13誌72本、単発9誌17本、延べ**21誌89本**(2023年度末現在見込))
  - 『住民行政の窓』(2021年1月～4月号)：厚生労働省、生活困窮者自立支援、地域包括支援センター、東京都特別区、福祉事業団、福祉事務所等
  - 『自治実務セミナー』(2023年12月号～連載中)：総務省、東京都、福祉事務所、児童相談所、保健師等
  - 重層的支援体制整備事業の展開に向け、F-SOAIPの搭載を要件とするシステム発注の自治体あり
  - F-SOAIP実践・教育研究所のHPより研修教材等をダウンロードできます。 <http://seikatsu.care>
- 本シーズ「利用者や家族・専門職・団体向け」や「システムベンダー・研究者向け」もご確認ください。